

# Love is Free Campaign

-この世界で一緒にいる人のために-

<http://loveisfree.mundef.net>

TEL/FAX: 03-5414-7778

Email: [info@mundef.net](mailto:info@mundef.net)



## Love is Free Campaignとは

Love is Free Campaignは、アフリカの東南部に位置するマラウイでChild AFRICAが出会った子どもたちをサポートするプロジェクト。

子どもたちをマラリアから守るために、蚊帳を配布したり、マラリアから身を守るために必要な予防に関する知識を伝えます。

また、日本国内でマラウイでの活動を紹介することで、マラリアの問題についての理解を深めます。

## Love is Free Campaignとは

このプロジェクトは、マラウイに暮らす少女エリナと、現地のエイズ孤児支援センター「コンソル・ホームズ・オルファン・ケア」の園長、チャボンバ先生との出会いから始まっています。

2008年11月、MISIAとChild AFRICAスタッフはマラウイ共和国を訪問。そこで出会ったエリナは、両親をエイズ関連疾患で亡くし、蚊が飛び交う家に祖母と二人だけで暮らしていました。彼女たちは、経済的に、そして社会的に自分の身を守る術を持っていませんでした。

それでもエリナは、「コンソル・ホームズ・オルファン・ケア」に通いながら、両親を失ったさみしさから立ち直りつつありました。

エリナの家を訪れながら、チャボンバ先生が語ってくれたことばが、強く私たちの心に残りました。

「Love is Free. 愛はただそこにあるもの。与えるものでも、あげるものでもないわ。」

「ここで出会ったエリナとチャボンバ先生のために何かできないか」、そんな思いから、Love is Free Campaignは始まりました。

2008年のマラウイ訪問の様子はこちらから見ることができます。

→<http://loveisfree.mundef.net>



チャボンバ先生（左）とエリナ（右）

## 目次：

Love is Free Campaignとは	1
2009年度の活動概要	2
マラウイ現地調査の実施	2
LFC特設サイトの設置	3
第一回蚊帳配布	4
企業とのコラボレーション	5
収支報告	6
今後の活動	6



## マラウイとは

マラウイ共和国 (Republic of Malawi) は、アフリカ東南部に位置する内陸国。人口は約1320万人、公用語は英語とチェワ語です。

主要産業は農業で、人口の85%が農業関連産業に従事しています。

主要な輸出品は紅茶、タバコなど。

2005年のデータによると、一人あたりのGDP額はUS156ドル、人口の52%が、一日0.32米ドル以下の生活費で生活をしています。

国連開発計画 (UNDP) が算定する、その国の人の生活状況や発展度合いを見る人間開発指数 (HDI) によると、マラウイは177か国中164位、世界最貧国の20カ国のうちの1カ国です (日本は8位) (UNDP, 2005)。



2009年度は、マラウイでの  
現地調査、キャンペーン特設  
サイトを通じた広報、企業と  
の協働、現地での第一回蚊帳  
配布を実施しました。

## 2009年度の活動概要

2009年7月7日から始まったLove is Free Campaignの活動は、3本の柱でできています。

### 広報

- WEBサイトを通じた国内での情報発信

### 資金調達

- 企業とのコラボレーション
- 個人寄付

### 現地での支援

- 蚊帳配布
- マラリア予防に関する啓発



エリナの家。  
天井の隙間から蚊が入り込んでしまう。



マラウイ現地の人にアンケートを実施。

### ■ 広報活動

2009年度は、WEBサイトを通じた情報発信に注力。キャンペーンの情報やマラリアについての認知向上を目指した情報発信のために、キャンペーン特設サイトの開設を行いました。

### ■ 資金調達

現地で直接支援を行うための資金調達活動を実施。企業との協賛キャンペーン、寄付付き商品の開発などのコラボレーションを進めました。また、個人、団体寄付の呼びかけを行いました。

### ■ 現地のサポート

さまざまな個人、企業の皆様からのご協力のもとに、2010年2月に、第一回の蚊帳配布を実施しました。また蚊帳配布の事後調査を行い、配布された蚊帳が適切に使用されたか、マラリア予防効果がどの程度あったかを、配布後、調査しました。

## 配布前の事前調査の実施

2009年3月は、子どもたちを取り巻くマラリアの実情を知るため、現地調査を行いました。調査はマラウイ現地のコーディネーターに業務を依頼し、コンソル・ホームズ・オルファン・ケアのあるナミテテ地区にて2週間にわたり行われました。

現地の人々の実際のマラリア罹患状況や、マラリアについてどの程度の知識を持っているのか、マラリアの予防方法（蚊帳の使用に関する知識など）をどれくらいの人々が理解し、実践しているのか、等についてデータを収集しました。

調査の結果はレポートにまとめ、Love is Free Campaignウェブサイト上で公開しています。

調査の結果、調査地であるナミテテ地区の付近で蚊帳を使って眠っている子どもたちの数は5人に2人にしかすぎず、またマラリアの予防法などが話題に上ったり、考えたりした経験がない人が大半である、ことがわかりました。

こうした調査結果を元に、どのようにマラリアの予防をサポートし、また予防方法を伝えていくかを検討し、第1回目の配布事業へつながりました。

マラウイ現地調査レポートはこちらから  
→<http://loveisfree.mundef.net>



## Love is Free Campaign 特設サイトの設置

### ■特設サイトの開設

キャンペーンや、マラリアの問題をもっと多くの人に知ってもらうため、2009年7月にはキャンペーン特設サイトを立ち上げました。

特設サイトでは、Love is Free Campaignの背景や活動内容、最新の活動状況はもちろん、マラリアの問題についても広く皆さんに発信してきました。

その他キャンペーンが支援するコンソル・ホームズ・オルファン・ケアの詳しい紹介や、そこで活動する日本人青年海外協力隊の活動なども紹介しています。

Love is Free Campaign特設サイトはこちらから→<http://loveisfree.mundef.net>

また、Child AFRICAウェブサイトにも、マラリアがアフリカの子どもたちの生活に与えている影響を詳しく紹介するページ「Malaria Toll on Children(マラリアとアフリカの子どもたち)」を追加しました。



特設サイトトップページ

### ■モバイルサイト

Child AFRICAモバイルサイトでも、キャンペーン紹介ページを設置。

キャンペーンの目的や、活動を紹介するほか、マラリアについて伝える、「10 Seconds Africa」を展開。

「10秒でわかるアフリカ」をコンセプトに、アフリカの現状や意外なアフリカの豆知識、そしてマラリアについての情報を紹介しました。

### ■Love is Freeキャンペーンサポーター

Love is Free Campaignでは、ウェブサイト上から無料登録できる、キャンペーンスペシャルサポーターを募集。

ニックネームと任意のメッセージを登録すると、Love is Free Campaign特設サイト上のキャンペーンサポーターリストに掲載されていきます。

サポーターとして登録していただいた皆様には、月2回のサポーター通信を発行。キャンペーンの活動状況や、マラリアについての情報をお知らせしています。

2010年5月13日までに、キャンペーンサポーターの数は117人になりました。今後もより多くの方に登録をしていただけるよう呼びかけを続けていきます。

#### サポーターリスト

117人

miku さん

Kai さん

I hope they will be so happy and

marina さん

i hope one day they will be mor

のすけ さん

みんなが素敵な笑顔になれますよう

ROJO さん

小さな力でも集まれば大きな力にな

キャンペーンサポーター  
リストページ (抜粋)



500張の蚊帳を、子どもたち

一人一人に手渡し。

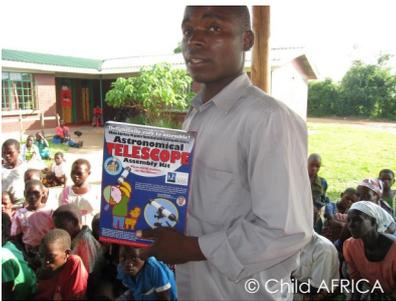
蚊帳の正しい使用方法、マラ

リア予防の方法についてレク

チャーを行いました。



蚊帳の正しい使用方法をレクチャー



併せて国立天文台よりご提供いただいた望遠鏡を贈呈

## 第一回蚊帳配布

2010年2月、第一回目の蚊帳配布を実施しました。

第1回配布では、500張の蚊帳をコンソル・ホームズ・オルファン・ケアに届けました。併せて子どもたちのための天体望遠鏡、おもちゃも贈呈。今回の蚊帳や物資の購入、輸送はリコー社会貢献クラブ・FreeWill、株式会社円谷プロダクション、マルカ株式会社、自然科学研究機構国立天文台のご協力で実現したものです。

蚊帳は子どもたち一人ひとりに手渡しで贈呈。ただ渡すだけではなく、現地コーディネーターの協力で、蚊帳の正しい使用方法、マラリア予防の方法についてきちんとレクチャーを行いました。

また今後のよりよいサポートに向け、子どもたちやその家族がマラリアに対してどのような意識を持っているか、現状の健康状態などについてアンケートとメディカルチェックを行いました。

今後、配布した地域で子どもたちが実際に蚊帳をきちんと使用できているか、また予防の効果がどの程度あったかについてフォローアップの調査を行い、今後の効果的な支援につなげます。



© Child AFRICA

## 企業とのコラボレーション

### ■オリジナルチョコレート「星空のショーコラ」共同開発



「星空のショーコラ」

Child AFRICAでは、「女性を元気にするチョコレートショップ」vanilla sugarと共同でオリジナルチョコレート「星空のショーコラ」を開発、2009年11月から販売を開始しました。

売上1個につき35円がキャンペーンに寄付されます。

同商品は2010年3月末まで販売され、収益を通じて購入できる蚊帳の数は約1500張となりました。

Vanilla sugarについて、詳しくはこちらから→<http://www.vanillasugar.jp/>

この「星空のショーコラ」は、2009年7月7日に行われたMISIA ライヴ「星空のエチュード Just Ballade」にて来場者のみなさんにご協力いただいたアンケートをもとに製作されました。



スタッフから蚊帳を受け取る子ども

### ■JALホテルズ・Love is Free 応援宿泊プラン

2009年12月1日から27日まで、(株)JALホテルズの6ホテルにて、「Love is Free チョコレートで世界を幸せにしよう！」宿泊プランが実施されました。

このチョコレート付宿泊プランの中には「星空のショーコラ」4個セットの購入費用が含まれ、1滞在につき300円分を寄付していただきました。

アフリカの子どもたちへもクリスマスプレゼントをあげることができるプランとしてご好評をいただきました。

### ■SWEET W Love is Free 協賛キャンペーン

ウェディングサロン「SWEET W」でも、Love is Free Campaign協賛キャンペーンを実施していただきました。

期間中に「Beauty Bride原宿サロン」にご来店の方に、「星空のショーコラ」をプレゼント。その他、結婚式の引き菓子やプチギフトとしても、「星空のショーコラ」を取り扱っていただきました。



© Child AFRICA

マルカ株式会社様からいただいたおもちゃを子どもたちに贈呈

JALホテルズ協賛キャンペーンについてはこちらから

→<http://jalhotels.jp/mediaroom.com/index.php?s=43&item=47>

SWEET Wについてはこちらから→<http://www.sweet-w.com/> (特設サイトは終了しました)

## 収支報告

単位: 円/1USD=93YEN

費目	単価	数	小計	備考
<b>支入の部(B)</b>			<b>¥3,011,410</b>	
リズメディア寄付	1,811,410	1 /セット	¥1,811,410	オークションからの収益
リコー社会貢献クラブ FreeWill寄付	200,000	1 /セット	¥200,000	
円谷プロダクション寄付	1,000,000	1 /セット	¥1,000,000	
<b>支出の部(A)</b>			<b>¥1,094,171</b>	
蚊帳購入費	¥1,151	500 /張	¥575,391	タンザニアからマラウイまでの輸送、通関費用を含む
スタッフ渡航・滞在費用	¥367,469	1 /人	¥367,469	
現地協力者謝金	¥151,311	1 /人	¥151,311	滞在中の通訳・コーディネート、事後フォロー費用として
<b>合計(C)=(B)-(A)</b>			<b>¥1,917,239</b>	次回配布事業の繰越金

## 今後の活動

Love is Free Campaignでは、今後もマラリアの問題についての認知を高めるための広報活動、及び現地への直接支援を進めていきます。

第一回の蚊帳配布後の調査結果を元に、第二回目の蚊帳配布をより効果的に実施できるよう計画を策定します。

2010年秋以降には第二回の蚊帳配布を行う予定です。

